

あさかわ

議会だより

No. 121

令和2年11月11日

福島県浅川町議会

もちつき楽しみ！

— チャレンジ
少年教室の稲刈り —

コロナ対策第2次分	2
令和元年度決算を認定	4
一般質問 10人の議員が町政を問う	10
ふるさと写真館	23
町民の声 大竹博美さん	24

コロナ対策費等可決

第1次分6282万円に続き、第2次分の地方創生臨時交付金1億6316万円（限度額）を受けて、教育の情報化推進事業、新型コロナウイルス感染拡大防止と地域経済や住民生活を支援する事

業など、総額1億8799万円の事業費を盛り込んだ一般会計補正予算が、8月7日の臨時会と9月定例会に提案されました。

審議の結果、原案通り可決しました。

9月議会 定例会

9月定例会は7日から14日まで会期8日間の日程で開催されました。江田町長が提出した令和元年度一般会計決算認定など23議案は、原案通り可決しました。議員発議1件も可決し、請願2件も採択しました。

9月定例会

町民・事業者支援

【概要】○令和2年4月28日～令和3年4月1日生まれの、新生児の保護者に1人10万円。○全町民に1人現金5千円。（マスク、手指消毒剤等購入費として）○令和2年2月～9月に出荷した肉用牛1頭に対して2万円。○感染防止対策に1万円以上支出した事業者に上限3万円。

質疑

5千円は振興券にしては

問 1人当たり5千円の給付は現金ということだが、現金では町内に落ちるお金が何分の一かになってしまふ。町で使える振興券が良いのではないか。

町長 商工会とも話した。町民の方々にも聞いたが現金を頂きたいとの意見が多かった。年内に支給予定。

事業者支援

問 町内300の事業者に対して上限3万円となっている。農家は対象となるのか。事業者によっては、もっと多く支援すべきではないか。

答 ある程度業種別に上限を考えたが、全体の流れの中で1業者3万円程度となった。全業者ということなので、農業も事業に入る。

畜産支援

問 支援の対象は、和牛という事だが、乳牛は対象外か。

答 乳牛も検討したが

一番価格の下がっている肉用牛を対象に計画をした。肥育牛と繁殖牛を対象に考えている。

新生児の保護者支援

問 新生児の給付金に関して、支給までの手順と支給時期は大体いつになるのか。

答 今回の補正予算が

議決をいただければ、定額給付金の口座等を活用し、速やかに交付したい。年内には遅くとも支給したい。



第2次分

1億8千万円の

公共施設の感染防止対策

【概要】○公民館・体育館等の社会教育施設に大型冷風機、赤外線ヒーター等購入。○吉田富三記念館の空調設備改修等。○防災倉庫設置、災害時備蓄品購入等。○武道館、こども園の公衆無線LAN環境の整備。○武道館、中学校体育館の和式トイレの洋式化。○避難所用備品購入。(マスク、避難所用テント、簡易ベッド)

質疑

防災倉庫に入る備品は

問 防災備蓄倉庫を設置するということだが、中に入る備品は決まっているのか。

答 倉庫はプレハブで

約50㎡くらいのもを予定している。備品は飲料水、食料、簡易トイレなどを準備する予定である。

吉田富三記念館の空調設備はいつ完成

問 吉田富三記念館の冷暖房装置はいつ完成するのか。

答 基本的には年度内完成をめざし発注を予定している。

避難所用テントとは

問 避難所用のテントとは何か。

答 避難所での飛沫感

染防止として、建物内

の間仕切りではなく、建物内テント30張を設置する。

【討論】

― 反対討論 ―

須藤議員 1人あたり5千円の現金給付は考え直して頂き、町民や事業者にとって良い使い方を考えるべきではないか。町民が健康で

過ぎしやすい臨時給付金とすることを願う。

りやるためにも、早急に必要な予算だと思いい賛成する。

― 賛成討論 ―

水野議員 町民の安全安心を守るために必要な補正予算だと思いつ終わるか分からないコロナ対策をしつか

【採決】

賛成8人、反対3人で可決しました。

8/7 臨時会

【質疑】

問 タブレットでゲームをしてしまうのではないか。

た、今年度からプログラミング教育も必修になっている。

答 ゲームをやったり有害なサイトにつない

【採決】

全会一致で可決しました。

教育の情報化推進

8月7日、新型コロナ対応臨時交付金1億6千万円のうち8千万円を使い、小中学校の児童・生徒・教師用のタブレット端末540台や電子黒板などを購入する1億1618万円の一般会計補正予算等が審議されました。

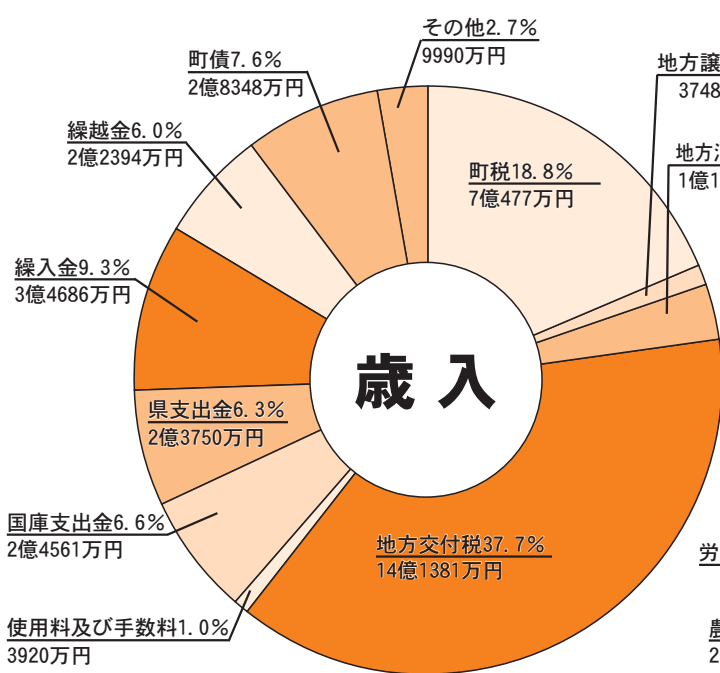
問 年間どのくらいの授業日数か。どのくらい使うのか。

答 何時間という決まりはなく、各教科でパソコンを使った方がいい場面で活用する。ま

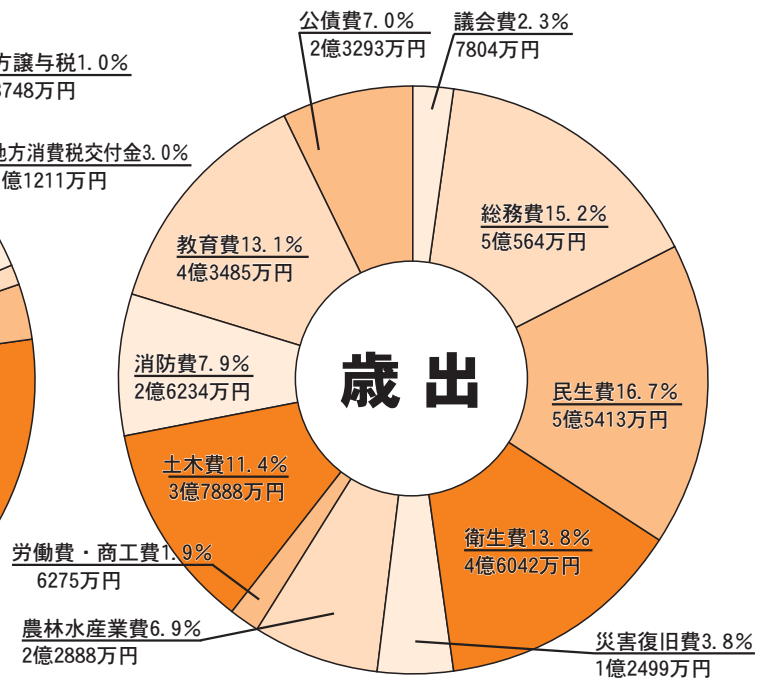


の黒字決算

〔令和元年度一般会計決算〕



歳入合計 37億4466万円



歳出合計 33億2385万円

監査報告

実質収支額は、1億3548万円となり、財政運営の基本である黒字決算である。地方財政の自主性・安定性を高めるためには自主

財源の確保が第一であり、町の収納にあつては特段の徴収率向上と各種使用料の未納額解消を図るよう要望する。

質疑

台風19号による災害の教訓と今後の対応は

問 決算の中でも大きなウエイトを占める災害復旧費だが、この災害を経験しての教訓と今後の対応は。

し、空振りを恐れず避難情報を早期に出すことが必要だ。今後は社川に水位計と監視カメラを設置し、避難場所の新型コロナウイルス対策を徹底したい。

町長 記録的な大雨の教訓をふまえ、町災害対策本部の役割分担を明確化して機能を強化

1.3 億円

首都圏在住者からの
ふるさと納税は何件か

問 ふるさと納税47件

のうち首都圏在住者は何件で、使い道についての要望はあったのか。

また、礼状や返礼品

の感想を聞いているのか。

町長 5万円以上の方

には、私の名刺と手紙を添えて町のPRをしている。

総務課長 首都圏在住

者は26件で93万6千円。使い道については、吉田富三記念館に10万円を寄附したいとの要望があった。

がん検診、再検査の
受診率向上への取組は

問 検診の結果、要二次

検診となった方の受診率をいかに上げるかが課題となっているが、この1年間の取り組みはどうだったか。

保健福祉課長 例えば

胃がん検診では、要精検31人に対して27人だった。電話での勧告や個別通知を行ったが、今後、個別の対応を強化したい。

城山の間伐により景観
が損なわれたが対応は

問 昨年度、城山の麓

付近の間伐が町外の業者に発注された。だが作業後に景観が損なわれているとの意見があったが。

町長 景観が悪かった

ら直してもらわなくてはいけない。城山は宝なので確認したい。

デジタル化された防災
無線戸別受信機の聞こえが悪いが

問 戸別受信機を母屋

だけでなく、隠居や作業場にも設置してほしいとの声がある。また聞こえが悪くなったという家庭もある。対応はどのようにしているのか。

総務課長 隠居、作業

場は令和3年度に設置を予定している。聞こえが悪いものについては、業者に連絡し速やかに対応している。

【討論】

賛成討論

角田議員 小学校入学祝金や、がん検診の無料化復活などが実施された。台風19号による未曾有の水害が発生し町当局、職員の頑張り、敬意を表すとともに、災害復旧は道半ばであり、一層の努力を願うものである。

【採決】 全会一致で認定されました。



特別会計決算審議

国民健康保険特別会計

【質疑】

療養給付費の減った要因は

問 療養給付費が前年度の4億683万円くらいから、3億5677万円に減った要因は

答 要因としては、高額医療費がかかる疾病

の減、予防事業がある程度功を奏したというふう到我々は評価している。今後も予防事業を含めて、努力していきたい。

特定検診の受診率あげる対策を

問 特定検診の受診率が48・2%ということだが、対象者の半分しか受診しない。少なくとも70%ぐらいまでにならないものか。

【採決】

答 他の町村でも受診できるようにして受診

率向上を図っていくというような施策を、県全体が模索している。全会一致で認定しました。

農業集落排水事業特別会計

【質疑】

久しぶりの新規加入だが

問 久しぶりに新規加入者が1件あったというところで、どういう取組をされたのか伺う。

答 1件の新規加入者は自宅の改修等に伴って接続したもので、建設した。

【採決】

上水道会計

【質疑】

石綿管の更新は

問 本管などに使用されている石綿管は災害が続くともろいということ、断水になってしまふのではないのか。石綿管を更新する場合、国の補助金を受けられずつやれるのか。

答 更新事業だが、国の補助はない。町の単独事業として実施することになり、どこの市町村でも大きな課題となっている。道路事業等に合わせ、経費がかからないような形で解消を図る。

水の確保は

問 供給する水の確保は十分できたのか。とても現在工事を実施している。

答 今のところ井戸の状況は良好である。新しく掘った旧専売公社に設置する水源について、全会一致で認定しました。

【採決】



旧専売公社跡に掘られた井戸

コロナウイルス感染症の影響による

国保税減免の 申請期間を延長 介護保険料にも減免制度

国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症で収入が減少したことによる国保税減免の申請期間の「令和2年7月31日まで」を「令和3年3月31日まで」に延長するもの。

【採決】

全会一致で可決しました。

※主たる生計維持者が死亡、重篤な傷病を負った世帯 Ⅱ 全額免除

※主たる生計維持者の事業収入等が前年比30%以上の減少が見込まれ、各所得要件に該当する世帯 Ⅱ 10分の2と10分の8減免

(令和2年2月1日と令和3年3月31日納期到達分)



役場入口に設置された自動検温機

介護保険条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症により、収入の減少が見込まれ、次の各号に該当する場合は介護保険料を減免するもの。

①主たる生計維持者が死亡又は重篤な傷病の場合。

②主たる生計維持者の収入の減少が見込まれ次のいずれにも該当する場合。

ア、収入の減少額が前年の10分の3以上。
イ、前年所得の合計が400万円以下。

【減免の割合】

①の場合は保険料の全額。

②の場合は、前年の所得に応じて減免額を決定。

【質疑】

問 国保税の減免規定は6月議会に提案されたが、介護保険料の減免はなぜ3ヶ月遅れの9月議会となったのか。

答 町民のためには早めにやる事が重要である。今後は早めに対応したい。

【採決】

全会一致で可決しました。

人 事

人権擁護委員

住 所

浅川町大字東大畑字
新町66番地の1

氏 名

増子 義一

生年月日

昭和30年10月

【採 決】

全会一致で同意しました。



入 約 購 契

児童・生徒用タブレット端末
計490台購入

黒板プロジェクター
29台購入

児童・生徒に1人1

台タブレット端末を貸
与するため、小中学校
学習用タブレット端末
機器を490台（小学
校326台、中学校1
64台）購入するもの。

■取得価格（税込）

4980万3600円

■契約の相手方

氏名 ㈱共栄ブレーン
福島市飯坂町

問 パソコンの使用で
目の病気が多くなって
きていると言われてい
るが。

答 使用時間も十分配
慮しながら活用してい
く必要があると考え、
その点も学校側と共通
理解を図っていきたい。

問 1台あたりの単価
はいくらか。

答 約10万円。

【採 決】

全会一致で可決しま
した。

小中学校大型掲示装
置（プロジェクター）
を購入するもの。黒板
固定式26台、超短投写
式3台。

■取得価格（税込）

2304万9400円

■契約の相手方

氏名 ㈱共栄ブレーン
福島市飯坂町

【質 疑】

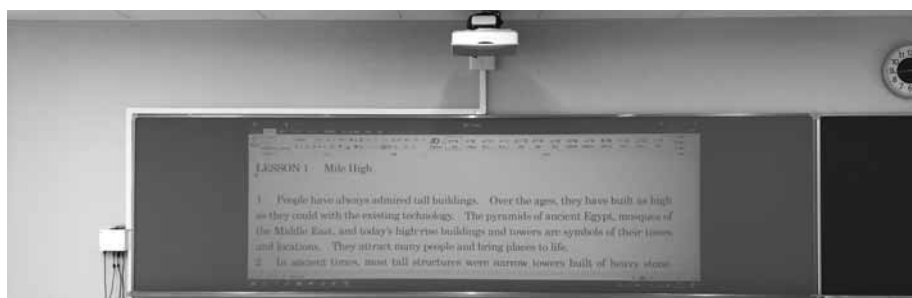
問 この製品について
は、試して写してみた
りしたのか。

答 メーカーのサカワ
が夏休み期間中に小中
学校の教室を借りてデ
モンストレーションを
行った。

【採 決】

全会一致で可決しま
した。

購入予定の
黒板プロジェクター



購入予定のタブレット端末

議員議 議発

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

発議第3号

提出者 須藤浩二

〔内容〕

新型コロナウイルス感染症の拡大は経済的、社会的影響をもたらしており、国民生活への

不安が続いている中、地方税、地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

〔採決〕

よって地方財政対策を強く要望する。全会一致で可決しました。

請願

地方財政の充実、強化を求める意見書提出の請願書

請願者 日本労働組合総連合会福島県連合会石川地区連合

議長 藁谷哲男
紹介議員 金成英起

〔内容〕

新型コロナウイルス感染症の拡大で経済状

況が不透明さを強め、地方税収の落ち込みも危惧される中で住民サービスの維持提供は難しさを増している。東日本大震災からの復興、

が不可欠である。地方財政の確立をめざすよう実現を求める。

〔採決〕

昨年台風被害の復旧、これら諸課題の解決には地方財政の充実強化を強く要望する。全会一致で採択しました。

東京電力福島第一原子力発電所事故で発生した放射能汚染水（アルプス処理水）の海洋放出に反対する意見書の提出

請願者 平和と平等を守る民主主義ア
クシヨン
紹介議員 上野信直

〔内容〕

国の小委員会は福島第一原子力発電所から発生する汚染された水の処理方法について、大気か海洋への放出が現実的だと報告書をまとめた。国におかれては拙速に処理方法を決

〔採決〕

定することなく、次の事項について実現されるよう要望する。
①汚染水処理水について透明性ある正しい情報公開を前提とし、大多数の国民からの合意がないまま海洋放出することがないよう求める。

②当面地上保管を継続し、国が責任をもって世界の英知を結集し、トリチウムの分離や放射能低減など根本的解決を図ることを求める。

9月定例会採決一覧

全26議案中25議案は全会一致で可決しました ○賛成 ×反対 議長は採決に加わらない

議案名	菅野朝興	兼子長一	会田哲男	木田治喜	岡部宗寿	渡辺幸雄	金成英起	須藤浩二	上野信直	角田勝	水野秀一	円谷忠吉	議決結果 (賛成：反対)
令和2年度浅川町一般会計補正予算(第5号)	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	—	可決(8：3)

10人の議員が質問

(通告順)

1 菅野朝興議員

- (1) 新型コロナの第2波、第3波に対して対応準備はしているのか
- (2) 更新されたハザードマップでの注意喚起が必要ではないか

2 兼子長一議員

- (1) 町長就任2年となり今後の町政方針を問う
- (2) 米の全量全袋検査から抽出検査移行に伴う対応について

3 岡部宗寿議員

- (1) 昨年の台風19号の被害を受けて今後の対策と備えについて
- (2) 滝ノ台ニュータウンと滝輪裏から里白石間の街路灯について

4 須藤浩二議員

- (1) 大名大塚背戸谷地線について
- (2) 新型コロナウイルスについて

5 渡辺幸雄議員

- (1) 元気あさかわ夢工房運営について
- (2) 滝ノ台ニュータウンの地域住民との話し合いに進展があったのか

6 木田治喜議員

- (1) 浅川町まち・ひと・しごと創生総合戦略について(第1期～第2期)
- (2) 災害発生時における新型コロナウイルス感染症への対応について
- (3) 県観光業支援「特典クーポン」配布について
- (4) 浅川町補助金申請交付決定について

7 会田哲男議員

- (1) 町道の管理・除草作業を適時、適切に実施すべき

8 金成英起議員

- (1) 国道118号に接続する道路整備について
- (2) 新たな公園の整備について

9 上野信直議員

- (1) 近隣町村で陽性者が出てきている新型コロナの検査体制拡充を
- (2) 町道、国・県道を問わず伸び放題の道路脇の草刈りをしっかり
- (3) 好評なタクシー利用料助成券は、遠方の方にはもっと多く支給を
- (4) 町の子育て支援制度をまとめて全国に発信し、他から移住者を迎えよ
- (5) 希望者はだれでも利用できる生きがいデイサービスの復活を
- (6) 300万円以上もかけて人事評価制度を続ける価値があるのか

10 角田勝議員

- (1) コロナ禍等による米価暴落から町農業を守る対策を
- (2) 山白石小、里白石小の跡地などの利用協議などはどのようになっているのですか
- (3) 加齢性難聴は認知症やうつ病を進行させますので補聴器への助成を
- (4) 城山などの森林再生整備事業での旧跡保存はなされているのか
- (5) 畑田区戸屋入生活道路の整備に全力をあげ完成させるべき
- (6) 日本の平和憲法を守り、戦争を絶対してはならない事を授業で小中学校で取りくんで欲しい

町政を問う

一般質問は9月8日に行われ、
通告した10議員が町長等の考え
を質しました。傍聴者は4人
でした。

※一般質問とは
定例議会において、各議
員が住民の代表として行政
全般にわたり町当局の考え
や疑問をたずねることです。
また議員にとって政策の
見直しや政策を提言する重
要な活動の場です。

新型コロナの第2波第3波 に対応準備はしているのか



菅野朝興議員

県の感染拡大防止対策にて対応する

問 新型コロナは、予断を許さない感染症となっている。対応する準備をできるだけする必要があると思うが3点ほど伺う。
 ① 町民が感染の疑いのある場合は、まずどこに連絡すべきか。また浅川町の対応は。
 ② 感染の第2波第3波が予想される。町として対応策はあるのか。予算は確保しているのか。
 ③ コロナによる長期休業での学生の勉強の遅れは取り戻せたのか。校内での感染症対策の取り組みはどうなっているのか。

町長 ① まずかかりつけ医に相談し、検査が必要な場合は発熱外来センターの紹介状を発行してもらおう。かかりつけ医がない場合は、帰国者・接触者相談センターへ相談。町では、住民からの個別の相談に内容説明をしている。
 ② 県の防止対策に従い「新しい生活様式」の定着に向け、施設、イベント等に対し協力依頼をする。感染拡大の傾向がある場合は県と連携して規制を行う。緊急の予算としては、予備費にて対応する。
 ③ 夏休み中の登校、平日の授業数増により現時点で遅れはない。3密を避け、窓開け、扇風機、空気清浄機で空気の浄化などを行っている。

更新されたハザードマップ での注意喚起が必要では

今後とも広報、ホームページ 等で注意喚起を図る

問 昨年、台風19号により浅川町の河川が大规模に氾濫した。調査により新たに水没や土砂崩れの危険箇所が追加された。町民の命を守るハザードマップについて1点伺う。

水没危険箇所や土砂崩れの恐れのある箇所が増えていた。町民の皆さんに注意喚起をすることはもちろんだが、特に避難場所、避難経路が変更となった地区では、間違った避難で

災害に巻き込まれないように注意喚起が必要ではないか。

町長 ハザードマップについては、8月末に町内全戸に配布し災害に備えた情報を発信した。予想される各種の災害については、巻き込まれないよう早めに周知する事で命を守る対応を図る。今後、広報、ホームページ等を活用し、住民への注意喚起を図る。



町長就任2年、今後の町政方針は

道路、歩道整備に取り組み、定住・移住住宅等を検討する



兼子長一議員

問 ①公約の・子育て支援・医療福祉充実・農商工業振興・若者定住・企業育成・文化スポーツ振興、これらの中間評価及び課題と実行に向けての方針は。②花火の里ニュータウン分譲は、現状の経済状況では厳しい状況である。定住・移住促進住宅の増設、テレワーク対応住宅建設など土地活用型へ方針転換する時期に来ていると思う。方針を伺う。

町長 「すべては町民のために」全身全霊をかけて取り組む。①小中学校の入学祝金創設、タクシー券発行に取り組んだ。今後は浅川駅前道路、染小貫線改良、町内歩道整備などに取り組む。②分譲は大変厳しい状況にある。未分譲地の利活用については、今後の重要な課題である。定住・移住住宅の建設の他、様々な施策を検討する。



10月1日開通した大名大塚背戸谷地線

問 平成24年から実施している全量全袋検査が令和2年産米から抽出検査に移行となるが、町の対応を伺う。

米の全量全袋検査から抽出検査移行への対応は

抽出検査は旧町村ごと3箇所協議会は解散を予定

①検査の実施主体である「浅川町地域の恵み安全対策協議会」の今後と管理する検査機器の取り扱い。②抽出検査の区域とサンプル数及び検査場所は。③基準値を超えた場合の出荷制限範囲と周知方法は。④各農家に配布していた塩化カリは令和3年も配布するのか。

②抽出検査区域は、浅川町、旧山白石村、旧小野田村の3区域。各3点を福島県農業センターで検査する。③基準値を超えた場合は、検査頻度を強化して地域的な広がりがなければ、出荷、販売ができる。検査結果は県のホームページで公表する。④土壌と米について放射能汚染状況の試験で汚染されていないことが確認できれば、令和3年の配布はしない。

町長 ①浅川の事務完了後は解散予定で、検査機器は処分する。処分費は賠償金で賄う。

昨年の台風19号の被害を受け今後の対策と備えは



岡部宗寿議員

堆砂除去や連絡体制の整備をしていく

問 昨年の台風19号では町始まって以来の甚大な被害に見舞われた。

あれからほぼ1年になるうとして、復旧も大分進んでいるが、堤防にはまだトンバツクが並び水で削られた所などは何ヶ所かそのままになっている。また川沿いの倒れかかった杉の木などもあの時のままになっている。そこで3点ほど伺う。

のか。

町長

①河川管理については、河道の堆砂除去の推進、河川水位の監視機能を強化する。水位計と監視カメラを設置する。避難所においては、新型コロナ対応の備品の購入、防災無線の充実、活用範囲を拡充し迅速な連絡体制の整備を図る。

②質問の場所の木の伐採については、現在実施予定はないが、今後也希望していく。

③県に要望書を提出したが、当面の実施は困難であると同っている。令和6年までの5か年で川底掘り下げや堤防強化などの対策が講じられる。

滝ノ台ニュータウンと滝輪里白石間の街路灯設置は

検討中である



滝輪・里白石間の町道

問

①前にも質問した滝ノ台ニュータウンの街路灯が暗く住民からもっと明るくして欲しいと要望があり、LEDの設置をお願いしたがその後の進捗状況はどうなのか伺う。

②同じく滝輪裏から里白石間の街路灯の件も伺う。

町長

①設置状況を見極め計画的に整備しており、お尋ねの区域についてはもうしばらくお待ち願う。

②染行政区長及び水利組合役員と協議したところ、過去の経緯を踏まえ、電線が張られることで稲穂に鳥の被害が想定されるので、関係者の了承は得られないとの返答をいただいた。現在、対応策を検討している。

旧国道側を なぜ一時停止にしたのか

交通量を想定し警察と協議した



須藤浩二議員

問

①大名大塚背戸谷地線は、なぜまだ開通にならないのか。
②旧118号の交差点の停止線はどの様になるのか。
③町の意見が県や公安委員会に受け入れてもらえないのなら、議員発議をし意見書の提出をしなければならぬと考える。

町長

①本線部分の工事はおおむね終了しているが、国道118号線の右折車線工事を現在実施している。交通規制等もかけられないことから、右折車線の工事完了後に開通する。
②広報誌にも掲載した

とおおり、旧国道118号側に停止線および止まれるの標識を設置する。現在の交通規制と異なるため、注意喚起のため、道路ペイント、立て看板等の設置をするなど、交通事故防止に努めたい。

建設水道課長

③一級町道の大名大塚背戸谷地線の方が交通量も多いだろうと、警察とも協議してこの交通規制になった。



一時停止となった旧国道

さらなるコロナ予防啓発を

県の防止対策に基づき行う

問

①近隣町村でも発症者が出るなど、感染状況も新たな展開となってきた。町としてさらなる予防啓発活動を行うべきと思うが町の考えは。

町長

①福島県新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に基づき、広報誌及び回覧、防災無線、ホームページ等により積極的に予防啓発活動を行っている。
②PCR検査可能な人数は変更ないが、石川地方町村会を通じて、検査体制の拡充を要望する。
③回覧板等で保健センターでいろいろ相談できるということを周知したい。

元気あさかわ夢工房の加工所の活用は



渡辺幸雄議員

使用したいという団体がある

問 ① 元気あさかわ夢工房は本来地域の6次産業の育成等が含まれているが、現在商品開発への取り組みはどうなっているのか。
② 元気あさかわ夢工房に年間、加工製造、販売事業運営補助金590万円が拠出されているが、補助金ありきでなく今後、いかにして継続していくか検討している段階に入っているのではないのか。
③ 町、JA夢みなみ、商工会の3理事は同等の役割についている。昨年度は何回くらい協議を行ったのか伺う。

町長 ① ある団体より加工所を使用したい旨を伺っている。この団体は加工品や販売ルートの写真もできていますので、使用についての調整が済めば、商品開発に取り組んでもらう。
② 夢工房には3つの事業があり、直売所、移動販売は、今年度より本格的に稼働し、加工所も今後の使用が見込まれ、少しでも補助金の額を減らしたい。
③ 昨年度は理事が協議したのは総会1回だけ、事務レベルでは10回程度の打ち合わせ、協議をした。



滝ノ台ニュータウンの地域住民との話し合いは

コロナ対策により現在まで実施していない

問 ① 滝ノ台ニュータウン住民との話し合いは、3月から何回開催し、住民からはどんな要望が出されているのか。具体的に説明願いたい。
② ニュータウンの販売促進にむけ新しい取り組みなどは展開しているのか。
③ 定住移住の住宅が1軒空き家になっているが、入居者は決まっているのか。今後、定住移住の住宅を新築するとしても入居条件等を検討する課題はないのか。

町長 ① 地域住民との座談会は、新型コロナウイルス対策により現在まで実施はしていない。
② 具体的な取り組みまでには至っていないが、利活用を含めて様々な施策を検討したい。
③ 9月4日に新しい方が入居されている。住宅等の建設における入居条件については、まだ具体的にどのような住宅を建築するのか方針は定まっていないので、今後、建築する住宅の目的に応じて、検討したい。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の作成メンバーは

町長ほか12名の管理職で編成



木田治喜議員

問 第5次進行計画に基づき「人口減少に歯止めをかけること」を最重要課題と位置付けて策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が発表されたが、第1期第2期の策定プロセス及び基準値の設定・検証、概要を含めて伺う。

- ① 第1期・第2期の策定メンバーと有識者会議の有無。
- ② 第1期総合戦略のプロセスを時系列的に。
- ③ 第1期の5年間のPDCAは機能したか、チェックのタイミングは。
- ④ 第2期は第1期のどのような反省に立って策定したか。

避難所用のテント



総務課長 ①町長が創生本部長、12名の管理職で編成した。有識者会議は3回実施した。
②平成27年7月にアンケート調査を実施し、創生本部会議を3回開催し、平成28年3月に公表した。
③PDCAは重要業績評価指標の効果を検証し、施策ごとの達成状況、達成度、課題等を整理した。
④昨年の浸水被害を教訓に「安全・安心で魅力的な暮らしをつくる」を追加した。

災害発生時における新型コロナウイルス感染症への対応は

避難所の対応マニュアル作成、簡易ベッド、防護服を配備

問 現下の新型コロナウイルス感染症の状況に鑑みれば、秋から冬に向けて第3波が懸念される。なおかつ、昨年の台風19号と同様な

町長 ①現在防災計画書の見直し作業を進めているので、作業終了後の令和3年2月に防災会議を予定している。

台風が発生し被害を受ければ、二重の苦境に立たされることが予想される。新型コロナウイルス感染症拡大防止に併せた災害時の避難所の町対応を伺う。

- ① 防災会議開催の有無。
- ② 避難所の動線及びゾーニングを適切に行うマニュアルを作成済か。
- ③ 避難所における衛生環境対策としての備蓄品の確保は万全か。

② 避難所開設に当たり、受付から動線の配置図を作成し、職員向けの消毒マニュアルを作成した。

③ 国の臨時交付金を活用し、避難所用テント、エアベッド、簡易ベッド、防護服セット、大型冷風機、赤外線ヒーター等を配備する。

滝輪地区から国道118号に 接続する道路整備が必要では



金成英起議員

要望を検討しなければと思う

問 県道塙泉崎線は沿線住民の重要な生活路線である。本町は滝輪地区からの道路改良及び日渡橋の架け替え等の県への陳情要望を行ってきたが、結果は大変厳しい回答だ。このような状況を踏まえて新たな路線計画、滝輪郷水門の手前より国道118号に接続する道路の整備を促進することが必要ではないか。また、浅川駅や公共施設へのアクセスの向上を見据えた道路整備、安全安心な道路づくりを進めていく必要があると思う。町長の見解を伺う。

町長 日渡橋の改修と道路の拡幅については町も20年以上県に要望している。今般の県主催の町づくり意見交換会でも改めて要望した。県からは、直ちに抜本的な改良を行うことは難しいという回答だが、私も金成議員と同じく隣に橋をかけた方がいいという要望も、これから検討しなければと思う。今後の道路整備では、大名大塚背戸谷地線と県道浅川停車場線が国道118号に接続すると、町内の主要施設へのアクセスも大きく改善されると考えている。

新たな公園の整備に ついでにの考えは

財政状況を見据えた 検討課題である



弘法山

問 社川と殿川の合流する所に小さな森がある。ここが弘法大師が東北行脚の際に立ち寄った場所といわれている弘法山公園だが、今から57年前に弘法山遊園の役割も果たすことができるオープンスペースの確保等も求められている。そこで既存公園の維持管理の充実に努め、多くの町民が集まることができる新たな公園の整備について見解を伺う。

町長 昨年度より殿川の堤防が舗装され、散地として整備され、人々のいこいとやすらぎの場となって利用されてきた。年月が過ぎ、老朽化した遊具等の適正な維持管理が求められ、復旧復興の拠点としての役割も果たすことができるオープンスペースの確保等も求められている。そこで既存公園の維持管理の充実に努め、多くの町民が集まることができる新たな公園の整備について、町民アンケートの中でも多くの町民が望んでいる。設置には多額の費用も必要なことから、今後の町の財政状況を見据えた検討課題と考えている。

新型コロナの検査体制の 拡充を



上野信直議員

最優先課題と認識している

問 近隣町村で陽性者が出て来ており、できたばかりではあるが石川地方発熱外来センターの検査体制を急いで拡充する必要があるのではないか。

① 外来センターは1日何人の検査が可能か。検査体制の拡充についてどう認識しているか。

② ふるさとに帰省する方の検査について、今後浅川町も正月休みや春休みで帰省する方に無料で検査を受けられるようにする考えはあるのかどうか伺う。

町長 ① ひらた中央病院に設置された石川地方発熱外来センターでの1日の検査人数は8人と病院から説明を受けた。検査体制の拡充は、現在の県内の感染拡大傾向を考えれば、最優先課題であると認識している。

② 正月休みや春休みなど、帰省での検査希望者についての対応は、石川管内で統一した措置が図られるよう町村会に要望している。石川地方発熱外来センターでの検査体制に支障がない仕組みで管内統一することができれば、浅川町も実施する考えである。

好評なタクシー利用助成券 遠方の方には多く支給を

利用状況踏まえ模索する

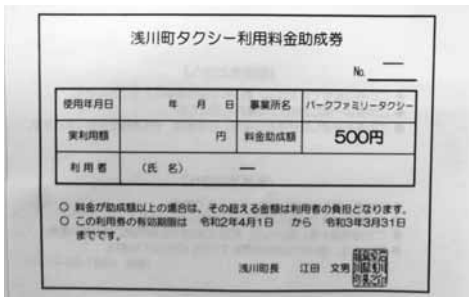
問 交通弱者を対象に今年度からタクシー利用料金の助成制度が始まった。

① この制度は好評で順調にスタートしたとの印象を持っているが、助成券の現在までの発行状況と利用状況、利用者の評判はどうか。

② 買い物や医者に行くのにタクシーで何千円もかかる遠方の方から早速、もっと枚数を増やして欲しいという要望が寄せられている。浅川町では500円券が年間24枚で、棚倉町の48枚の半分しかない。来年度から前向きに見直すべきではないか。

町長 ① 申請に基づき交付した人数は8月末で、428人に約1万枚交付した。利用した枚数は1324枚で約13%の利用となっている。利用者からの評判は集約していないが、事業者からの聞き取りでは、大変助かっているとの声もあると聞いている。

② 本年度からの取組みであり、方別の利用状況を集約している中で、利用状況を踏まえ、交通弱者対策としての事業であることと公平さを兼ね備えた内容となるよう模索する。



コロナ禍等による米価暴落から町農業を守る対策を



角田 勝議員

下落幅と国県の動きを注視する

問 コロナ感染拡大等によって旅行や飲食店、給食などの自粛や休業がなされ、米の消費が大きく減って生産者米価の暴落が心配されている。国は備蓄買入、飼料米への転換加算金の引上げ、生活難の方々への支援としての活用等を行うよう強く求める。既に県内でも補助を決めた町村もある。①町農業は町の基幹産業でもあり、支援をすべき。②町農業の柱である畜産への支援策もどの様になされるのか。③水害で作付できなかった農地への助成はどのようにするのか。

町長 ①今年の米価が大幅に下落する予想であることは十分承知している。今後、どの程度下落するのか、国県の支援策、他町村の動きなども注視していきたい。②今年2月から9月までに出荷した肉用牛に對し、1頭当たり2万円の助成を考えている。肥育牛と繁殖牛の両方を対象にしたい。③復旧工事の都合により作付できなかった耕作者に對し、来年に向けての準備金の支給を考えている。面積に応じて段階をわけて支給したい。現在、支給要領等を作成している。



問 世界の人々が日本の平和憲法を賞賛している。軍隊を持たないこと、どんな事があっても戦争は絶対にしてはいけないことが唱えられている。世界でも、戦争への反省や教訓を小さい時から教育現場でとり入れている。軍国主義は教育によって

生れたといっても過言ではない。①絵本やスライド、手記などの利用や展示。②憲法の平和条項を授業する。③戦争は人を殺し合う悲惨さを体験した人に話してもらう。④広島、長崎への原爆投下、終戦記念日に町民のみなさんに黙祷をお願いすること。

は現在国語科で戦争児童文学「ちいちゃんのかげおくり」と「一つの花」をとりあげ、戦争の悲惨さ、平和の大切さを教え、中学校では歴史的分野で「第二次世界大戦と人類への惨禍」を、公民的分野で日本国憲法の平和主義を基にした学習を行っている。議員から示された事例の取り上げ方も検討したい。

戦争を絶対してはならない 事を小中学校の授業で

平和の大切さを学ばせる ことは重要

教育長

こどもたちに戦争の体験を伝え、平和の大切さを学ばせることは大変重要だと認識している。小学校で

町長

戦争で悲劇を受けるのは弱者であり、戦争は嫌いだという気持は一緒だ。

町道の管理・除草作業を 適時適切に実施すべき

随時対応し早急な修繕に努める



会田哲男議員

問 今年には町道と国・県道が除草されずに草が伸び放題で、浄化センター周りも除草されていない。町道は路面の亀裂で危険なところもある。今までになく道路の除草、管理が悪いと町民からの声がある。

町民目線での維持管理が必要と思いつく。

① 除草、路面の破損の確認を随時実施し、適時適切に対処すべき。

② 広域農道に覆いかぶさる枝木を伐採し、危険回避処置をすべき。

③ 国県道も交差点等の危険箇所は町で除草等の対処をすべき。



関東精工前の歩道

町長 1点目の町道の除草については、実施場所、時期はおおむね決めており、今年も例年通り実施しているが、天候により前後する。破損箇所は巡回し把握に努めているが、巡回体制の改善を図る。

2点目の広域農道は危険箇所の把握に努め、車輛の通行等に支障がないように対応する。

3点目の国、県道は管理は県が行うが、除草についても対応を求めたい。町道に隣接する交差点部分などの除草は、県と協議したい。



研修 してきました

県内の全町村議員対象の 町村議会議員研修会

片山善博氏



角谷浩一氏

10月8日に、郡山ユラックス熱海の多目的ホールにて、福島県町村議会議長会が企画した議員研修会を受講してきました。始めに、元鳥取県知事を2年間経験され、現在は、早稲田大学で教授をされている片山善博氏から、知事時代に経験したお話や、地方議会の役割についての講義を受けました。次に、政治ジャーナリストの角谷浩一氏からは、長年、政界の取材を経てきた視点から、今後の政局・政治の行方についてのお話を聞く事ができました。

あの提言はどうなってるの？

中里十字路に信号機の設置を



注意喚起のため町が設置した点滅道路表示灯

令和元年12月定例会

答

行政区からの要望もあり、放置するわけにはいかない。公安委員会ははじめ、関係機関等に強く働きかけている。点滅信号が適当か公安委員会と協議する。石川警察署へは文書で要望した。点滅信号設置に頑張りたい。

問

県道勿来浅川線の中里屯所前交差点は、止まれ標識の見落としや見通しが悪いなどの理由から事故が絶えない状況だ。点滅式信号機の設置に向けての対応を伺う。

昨年の台風19号被害で 作付できなかった農家に支援を

作付準備金として支給する

— 作付準備金 —

作付不能農地面積	支給額
100㎡ 以上 1,000㎡ 未満	10,000円
1,000㎡ 以上 5,000㎡ 未満	20,000円
5,000㎡ 以上 10,000㎡ 未満	30,000円
10,000㎡ 以上	40,000円

(※畑については半額)

令和2年6月定例会

答

作付できなかった方には、大変胸が痛い思いである。令和3年の作付準備金として支給する。

問

台風被害により、作付できなかった農家へ支援策を講じるべきと思うが対応を伺う。

東北の ミケランジェロ

小松 寅吉
(こまつ たらきち)



弘化元(1844)年、山形村(現石川町)に生まれる。高遠藩から浅川町福貴作地区に移り石工をしていた小松利平に弟子入り。白河市東の鹿島神社の狛犬など数々の傑作を残し、東北のミケランジェロとたたえられている。大正4(1915)年に死去。

鮫川村熊野神社 「飛翔獅子」

(文 相田道代 / 写真 藁谷六朗)



鮫川村赤坂西野名下385熊野神社に、小松寅吉作飛翔獅子が一對奉納されています。「拝殿新築記念碑」には、永禄元年紀州熊野権現より御分霊を勧請し、明治8年「村社」となりとあります。鳥居をくぐると社殿へと続く真つすぐに伸びた長い階段。その参道の両脇に、参拝者と正対する形で、今にも飛びかかって来そうな姿勢で鎮座しています。

明治31年11月「福貴作・石工・小松寅吉」と銘が台座にしっかりと彫られた、54歳での2つ目の飛翔獅子であることが確認されています。ですが、先祖代々の「布」という字が入っていないことから、弟子の手も加わっているかも知れないと窺われます。



この神社の飛翔獅子は、少し小さめで阿像の頭に大きめの巻き毛が二つ飾られており、吽像には子供が2匹しかいないことが特徴です。平成23年の震災には、倒壊することもなく、相変わらず威厳を保ちしっかりと守護しているようです。台座には、この狛犬を建立した剰余金で、拝殿の真鍮製の角燈籠を献供したと刻まれており、当時の氏子の信仰と絆の深さを知ることができます。また境内には、今では珍しい土俵があり、毎年秋の祭神には村民による子供達の相撲大会で賑わいます。地元有志により案内板を設置していたり、村民から大切に保存されています。

古里 写真館

Vol. 8

Photograph

交流のページ



里白石小学校入学式当日の様子です。(撮影時期は不明です)

— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上で紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-11182



浅川駅構内の写真です。(撮影時期は不明です)

吉田肉腫が 未来技術遺産に登録 ぜひご来館ください



吉田富三記念館
職員

大竹博美さん

「癌という看板が気になってきてみました。福島県にこんな立派な方がいらつしやったんですね。」と博士の功績に驚き、また、博士のお人柄に触れ、感激して帰られる方を見ると、この仕事に携わられてい

ることに感謝します。このたび、博士が発見した『吉田肉腫』が国立科学博物館の未来技術遺産に登録されました。これは、科学技術を担ってきた先人たちの経験を次世代に継承していくべき遺産として登録されたものです。博士が亡くなって四十七年経った今でも『吉田肉腫』は、移植や培養を繰り返し、冷凍保存しながら抗がん剤研究のために研究機関に提供され続けています。

来館者の中には、博士の功績がこのような形で称えられましたことは、大変名譽なことであり、町民の誇りです。浅川町及び記念館の明るい未来を感じずにはいられません。

吉田富三記念館では、博士の功績をわかりやすく紹介、展示しています。またところどころにある博士の詩や俳句、お言葉からも博士の温かいお人柄が感じられます。博士のお言葉は、今の時代にでも心に響くものがあります。たくさんの方々に触れていただきたいと思います。ご来館を心よりお待ちしております。

記念館の来館者数は、年間約2千人位ですが、2度目、3度目の来館というリピーターも沢山おられます。町内の小学校児童や福島県立医科大学医学部の1年生は、毎年見学に来られています。

吉田富三記念館では、博士の功績をわかりやすく紹介、展示しています。またところどころにある博士の詩や俳句、お言葉からも博士の温かいお人柄が感じられます。博士のお言葉は、今の時代にでも心に響くものがあります。たくさんの方々に触れていただきたいと思います。ご来館を心よりお待ちしております。



新型コロナの終息がいつ終わるかわからない中、暑い夏も終わり町内の路地などからは金木犀の香りがただよってきます。新型コロナ対策のため、今までと違った生活を考え行動しなくてはなりません。これから寒さに向かって体に充分気をつけ、町民一人一人が対策をしっかり守って早いコロナの終息を願うばかりです。

水野秀一

編集後記

広報特別委員会/上野信直
会田哲男

水野秀一
兼子長一

渡辺幸雄
菅野朝興